次世代言語 CROSS Yesod web framework

伊東 勝利 /HIMA'(株)タイムインターメディア

自己紹介

• なまえ: 伊東 勝利

しょぞく: 株式会社タイムインターメディア

・ すきな言語: Haskell, Scheme

• しゅみ: 水泳

とくぎ: バブルリング



Yesod とは

- ・Web フレームワーク
- ・Haskell で開発されている
 - 強い型付け
 - · 純粋 (side-effect free)
 - ・速い
- ライブラリのあつまり

フルスタック

・Web サーバ

ORM

· Add-on ライブラリ

auth

gravatar

widget etc.

Yesod は Foundation

開発環境 . コンパイラ . IDE, ライブラリなど

• GHC7

Yesod 自体がライブラリのあつまり

・IDE は特になし

・通常の Haskell プログラミング環境例)

Emacs+haskell-mode+ghc-mod

メリット こういうケースで長所が活きてくる 他にない技術、他より優れた方法

特長 1:Type-safe URLs

- ・すべての URL にはデータ型がある
 - ・有効な URL は値として表現がある
- ・URL を中心に以下を自動的に同期
 - ・URLのパース
 - ・URLのレンダリング
 - ・URLからハンドラ関数ディスパッチ

例:Type-safe URLs

```
mkYesod "MyApp" [parseRoutes]
/ RootR GET
/entry/#BlogId BlogPostR GET
/entries/#Year/#Month BlogListR GET
]
```

メリット:Type-safe URLs

- パスを一箇所に記述
- ・データ型にもとづいて自動的にマーシャ リング
- ・データ型の変更に対してコンパイラがエ ラーを捕捉

特長 2:Compile-time templates

やさしい構文 コンパイル時に構文チェックされる Haskell の変数を直接使える

- ・テンプレート中に書くための糊付けコードは 不要
- 自動的に型検査される

シンプルな制御構文 css と js もテンプレート

- · Debug mode では変更したら自動コンパイル
- Quick development cycle

Hamlet(HTML)

```
<html>
 <head>
   <title>#{pageTitle} - My Site
   <link rel="stylesheet" href=@{StyleSheetR}>
 <body>
   <h1 .page-title> おともだちの一覧:
    $if null friends
      すまん . おともだちはいないや .
     forall f <- friends</pre>
         #{friendName f} (#{show $ friendAge f} 才)
    <footer>^{copyright}
```

Lucius(CSS)

```
section.blog {
  padding: 1em;
  border: 1px solid #000
  h1 {
    color: #{headingColor};
  }
  background-image: url(@{MyBackgroundR});
}
```

Julius(Javascript)

与メリット:Compile-time templates

- ・ 簡単そうでしょ?
- **上・**ランタイムの表示エラーやリンク切れも とない
 - ・良く使うテンプレートも部品化して埋め 込み可能
 - XSS Protection

例:XSS Protection

```
name :: Text
name = "Michael <script>alert('XSS')</script>"
 main :: IO ()
main = putStrLn $ renderHtml [shamlet | #{name} | ]
 出力:
Michael <script&gt;alert(&#39;XSS&#39;)&lt;/script&gt;
```

特長 3:Persistent template&EDSL

- 一箇所でエンティティの宣言
- ・自動的に Haskell の型を生成し,関数と SQL
 - スキーマをマーシャリング
- ・各テーブルから ID を分離
- 全てのマーシャリングと有効性検査はライブラ リでハンドリング
- ・自動マイグレーション
- ・ SQL と MongoDB を容易に切り換え可能

例:Persistent template&EDSL

```
mkPersist [persist]
Person
     name Text
     age Int Maybe
BlogPost
     title Text
     author PersonId
```

例:Persistent CRUD

RunMigration migrateAll

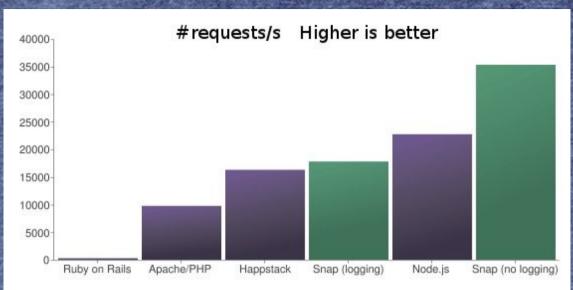
delete cutseald

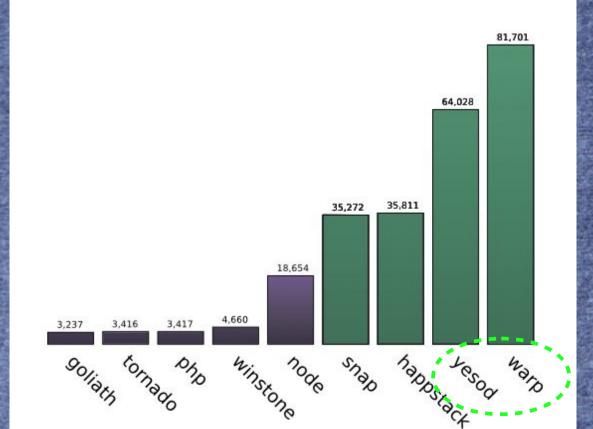
```
┗ cutseaId <- insert $ Person "いとうかつとし" $ Just 35
┗ keikoId <- insert $ Person "いとうけいこ" Nothing
┷ insert $ BlogPost "最初の投稿" cutseaId
— insert $ BlogPost"もいっこ投稿" cutseaId
- onePost <- selectList [BlogPostAuthor==.cutseaId][LimitTo 1]</pre>
LangliftIO $ print (onePost :: [(BlogPostId, BlogPost)])
update cutseaId [PersonAge +=. Just 1]
___cutsea <- get404 cutseaId
deleteWhere [BlogPostAuthor==.cutseaId]
```

メリット:Persistent template&EDSL

- ・簡単そうでしょ?
- ・クエリの記述が EDSL なので Haskell の全 能力を使って合成できる
- ・コンパイル時にクエリも型検査される
- No SQL injection

メリット:速い





メリット:速い

- Web Application Interface(WAI)
- Blaze-builder
- Enumerator(-> Conduit)
- Multi-threaded runtime
- ・Haskell は速いよ!(by snoyman)

メリット:モジュラリティ

- Widgets
 - ・HTML/CSS/Javascript をコンポーネント化
 - ・複数箇所に含めることができる
 - ・DB アクセスも含めることができる
 - ・

 ・

 響を与える
 - CSRF Protection

例:Widgets

```
🖶 existingLinks :: Widget
LexistingLinks = do
links <- lift $ runDB $ selectList [] []</pre>
toWidget [lucius|li{list-style-type:none;}|]
whamlet
<l
   $forall link <- links</pre>
    <li
      <a href=@{linkUrl $ snd link}>#{linkTitle $ snd link}
```

例:Widgets

使う側のテンプレート:

出力:

```
<html><head><title></title><style>.message{color:red;}
li{list-style-type:none;}</style></head>
<body>...ul>.../li>...</body></html>
```

デメリット

MySQL,Oracle,SQL Server などはサポートしてないので,これらの DB に縛りがある場合

・認証プラグインに関しては
OpenID,OAuth,BrowserID,Email リマイン
ダ、HashDB(ローカル認証)があるがそれ以外
の認証機構を使う縛りがある場合

適用事例

- Trough Suite Solutions:
 - Production yesod site at Emerson(Social Knowledge Base)
 - Warp Webserver powering
 Dell's context-sensitive
 help
 - Various yesod libraries
 used at Cisco and LifeTech

適用事例

- Very active, friendly community, lots of them making sites too.
 - ・yesodweb Yesod 公式サイト
 - haskellers.com HaskellerのSNS
 - ・TKProf GHC プロファイラ可視化
 - · Kestrel WIKI(某短期大学案件)
 - · BISocie BTS(某短期大学案件)
 - ・その他

www.yesodweb.com/wiki/powerd-by-yesod

コミュニティの動向

- i 議論の場を web-devel(Haskell の Web 一般) な ML か ら Google Group(Yesod web Framework) に移行
- ・主に Google Group で議論して yesodweb 上の blog で 技術の紹介やリリースアナウンスなどがされる
- ・現在最新は 0.9.4.1(2011/12/27) で 1 ~ 6 ヶ月おきに 0.1 ずつバージョンアップ
- ・実装技術(スタイル)面でのトピックとしては Enumerator から Conduit ヘシフト中
- ・1月あたりに予定されていた Yesod-1.0(安定版)の リリースは見送り
- ・ Yesod-0.10 で Conduit 化した後にあらためて 1.0 へ というリスケジューリングが発生 ← イマココ!!

Yesod で Hello

特長のわかるコード例

特長の解説

- ・アプリケーションが Hello/Links というデータ 型になっている
- Yesod アプリにするのに Yesod クラスのインス タンスにしている
- ・ defaultLayout でサイトのデフォルトページを 設定できます
 - · Yesod クラスのメソッド

特長の解説

- selectList [][] だけでも Link テーブルを select できてる
 - ・型推論でクエリ対象テーブルを判断可能
 - ・LinkUrl や linkTitle の使用から判断 できる
- ・テンプレート中の @{AddLinkR} も型検査されている
 - 間違っていればエラーになるのでリンク 切れのままリリースすることはない

特長の解説

- ・HTML/CSS/Javascript を (DB アクセスなどロ ジックも) コンポーネント化できる (Widget)
- urlField,emailField など便利なフィールドも 用意されている